

統計調査からみた

新型コロナウイルスの県民生活等への影響

(令和2年(2020年)9~10月分)

9~10月の新型コロナウイルス関連の主な出来事

- 9月19日 滋賀県の「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に基づき、必要な感染防止策が担保される場合はイベント開催制限を緩和
- 29日 国土交通省が都道府県地価調査の結果を発表。新型コロナの影響による先行き不透明感から需要が弱まり、全国平均（全用途平均）が平成29年以来3年ぶりに下落に転じた
【9月の滋賀県の患者発生状況 52件 累計502件】
- 10月15日 「コロナとのつきあい方滋賀プラン」が3ステージから4ステージに変更され、「警戒ステージ」から「滋賀らしい生活三方よしステージ」へ移行
- 29日 新型コロナの国内感染者（クルーズ船の乗客・乗員等を含む。）が10万人を突破
【10月の滋賀県の患者発生状況 50件 累計552件】
















令和2年(2020年)12月10日

総合企画部 統計課

概 況

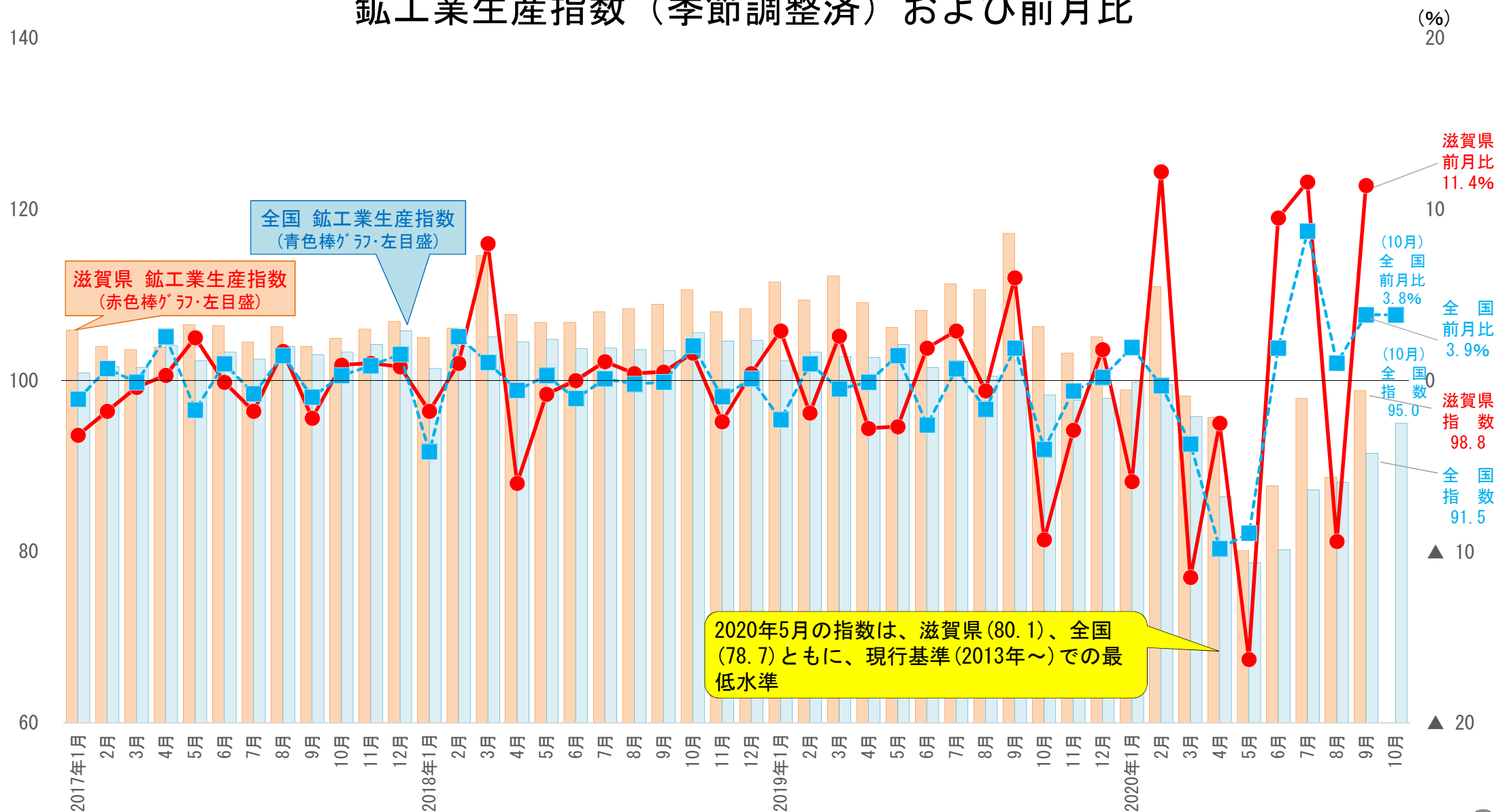
新型コロナウイルスの滋賀県における9～10月の影響は、昨年10月の消費税増税の反動があったため、「消費」で前年同月を上回る項目も見られるが、「生産」が回復の動きを示しているほかは、依然、厳しい状況が続いている。

(分析内容等、詳しい説明は各項目を参照)

	項 目	滋賀県	前年同月比	全 国	前年同月比
生 産	① 鉱工業生産指数(9月) (滋賀県・経済産業省「鉱工業指数」)	98.8	 (前月比) +11.4% 2か月ぶり増	91.5	 (前月比) +3.9% 4か月連続増
	② 百貨店・スーパー販売額(10月) (経済産業省「商業動態統計調査」)	20,843 百万円	 +0.3% 2か月ぶり増	1,627,368 百万円	 +3.8% 8か月ぶり増
消 費	③ 消費者物価指数(10月) (滋賀県・総務省「消費者物価指数(生鮮食品を除く)」)	101.7	 ▲0.8% 7か月連続減	101.3	 ▲0.7% 3か月連続減
	④ [参考] 家計消費支出(10月) (総務省「家計調査」)	310,587円	 +14.0% 3か月連続増	283,508円	 +1.4% 8か月ぶり増
雇 用	⑤ 実質賃金指数(現金給与総額)(9月) (滋賀県・厚生労働省「毎月勤労統計調査」)	79.3	 ▲2.3% 9か月連続減	83.3	 ▲1.1% 7か月連続減
	⑥ 所定外労働時間指数(9月) (滋賀県・厚生労働省「毎月勤労統計調査」)	80.2	 ▲23.4% 9か月連続減	82.7	 ▲13.4% 12か月連続減
そ の 他	⑦ 推計人口(11月1日現在) (滋賀県「毎月人口推計調査」)	1,412,246人	 ▲2,103人 6か月連続減	-	-

1 生産 ① 鉱工業生産指数（時系列データ）

鉱工業生産指数（季節調整済）および前月比



1 生産 ① 鉱工業生産指数

鉱工業生産指数（季節調整済）
（2015年=100、前月比：%）

	滋賀県	前月比	全 国	前月比
2019年 9月	117.2	6.0	102.4	1.9
10月	106.3	▲ 9.3	98.3	▲ 4.0
11月	103.2	▲ 2.9	97.7	▲ 0.6
12月	105.1	1.8	97.9	0.2
2020年 1月	98.9	▲ 5.9	99.8	1.9
2月	111.0	12.2	99.5	▲ 0.3
3月	98.2	▲ 11.5	95.8	▲ 3.7
4月	95.7	▲ 2.5	86.4	▲ 9.8
5月	80.1	▲ 16.3	78.7	▲ 8.9
6月	87.7	9.5	80.2	1.9
7月	97.9	11.6	87.2	8.7
8月	88.7	▲ 9.4	88.1	1.0
9月	98.8	11.4	91.5	3.9
10月	(12月下旬公表)		95.0	3.8

(2020年10月の全国値は速報値)

滋賀県の9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は98.8、前月比+11.4%で2か月ぶりの上昇となった。(全国は91.5、同+3.9%で4か月連続の上昇)

業種別の内訳をみると、前月、低調であった化学工業(前月比▲8.6%)が、化粧品が好調で同+18.3%と大きく上昇するなど9業種が上昇した。

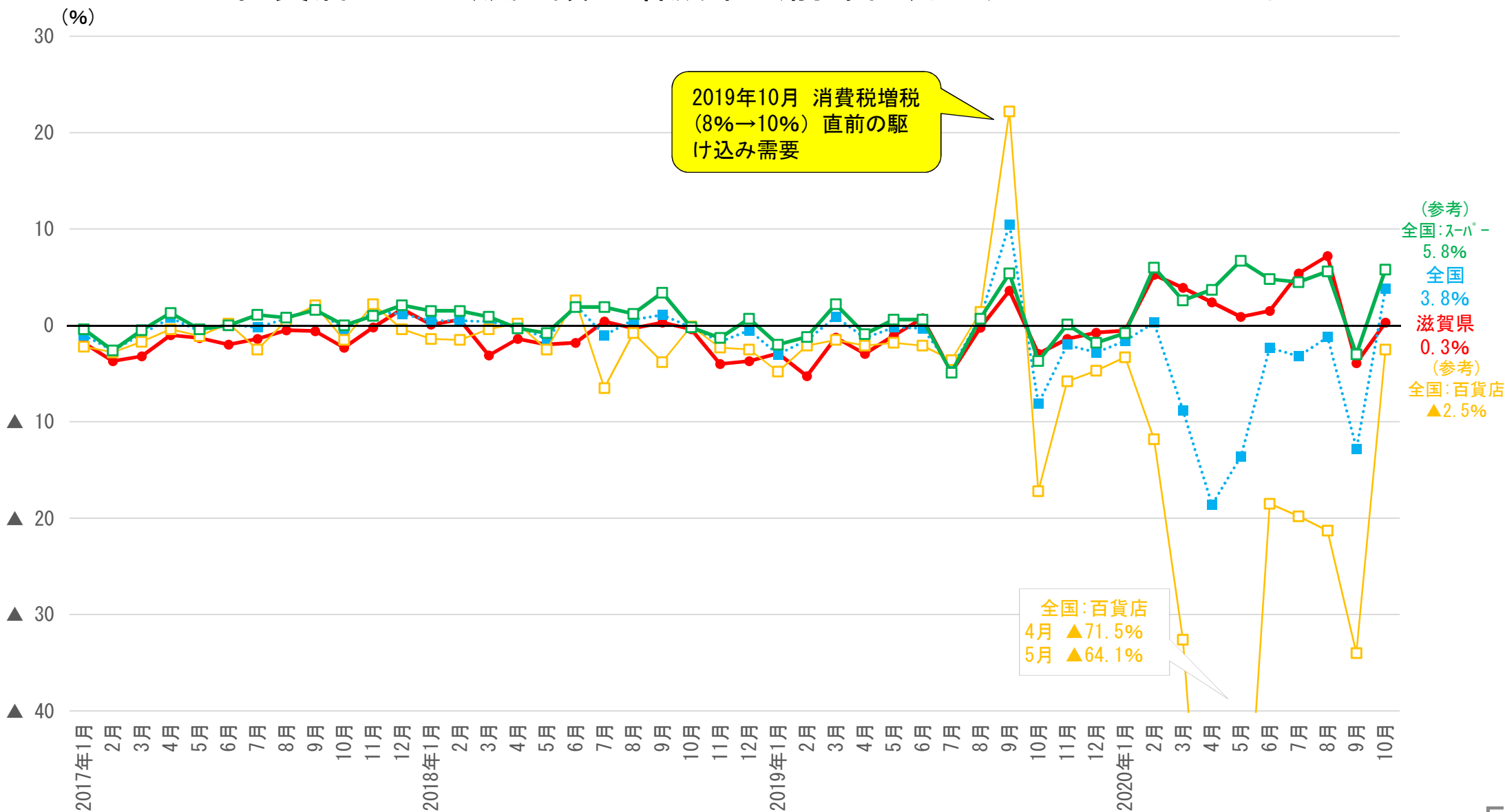
生産指数は前月の同▲9.4%から同+11.4%へと大きく上昇し、勢いが弱まったと見られる前月から再び回復を感じさせる動きを見せた。

2020年9月の滋賀県鉱工業生産指数の主な変動要因（寄与度順）

	業 種	前月比(%)	品目分類
上 昇	化学工業	18.3	化粧品
	電気・情報通信機械工業	18.7	-
低 下	生産用機械工業	▲ 6.3	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置
	輸送機械工業	▲ 2.1	-

2 消費 ②百貨店・スーパー販売額(時系列データ)

百貨店・スーパー販売額の増減率(前年同月比) (2020年10月は速報値)



2 消費 ②百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパー販売額(全店ベース)
(百万円、前年同月比：%)

	滋賀県	前年同月比	全国	前年同月比
2019年10月	20,313	▲ 2.9	1,457,231	▲ 8.1
11月	21,548	▲ 1.4	1,611,292	▲ 2.0
12月	23,690	▲ 0.8	2,023,433	▲ 2.8
2020年1月	23,373	▲ 0.5	1,606,373	▲ 1.6
2月	20,862	5.3	1,438,889	0.3
3月	21,286	3.9	1,621,932	▲ 8.8
4月	21,537	2.4	1,345,016	▲ 18.6
5月	21,571	0.9	1,452,904	▲ 13.6
6月	22,787	1.5	1,678,895	▲ 2.3
7月	22,345	5.4	1,691,805	▲ 3.2
8月	24,792	7.2	1,688,171	▲ 1.2
9月	20,978	▲ 3.9	1,568,049	▲ 12.8
10月	20,843	0.3	1,627,368	3.8

2020年3月に対象事業所の見直しを行ったため、同月以降の前年同月比は見直しに伴うギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算してある。

10月(速報値)の滋賀県の百貨店・スーパー販売額は20,843百万円、前年同月比+0.3%で2か月ぶりに増加した。全国は1,627,368百万円で、同+3.8% (百貨店・同▲2.5%、スーパー・同+5.8%) となり、8か月ぶりに前年同月を上回った。(※滋賀県は百貨店が少ないため、百貨店およびスーパーの個別の販売額は公表されていない。)

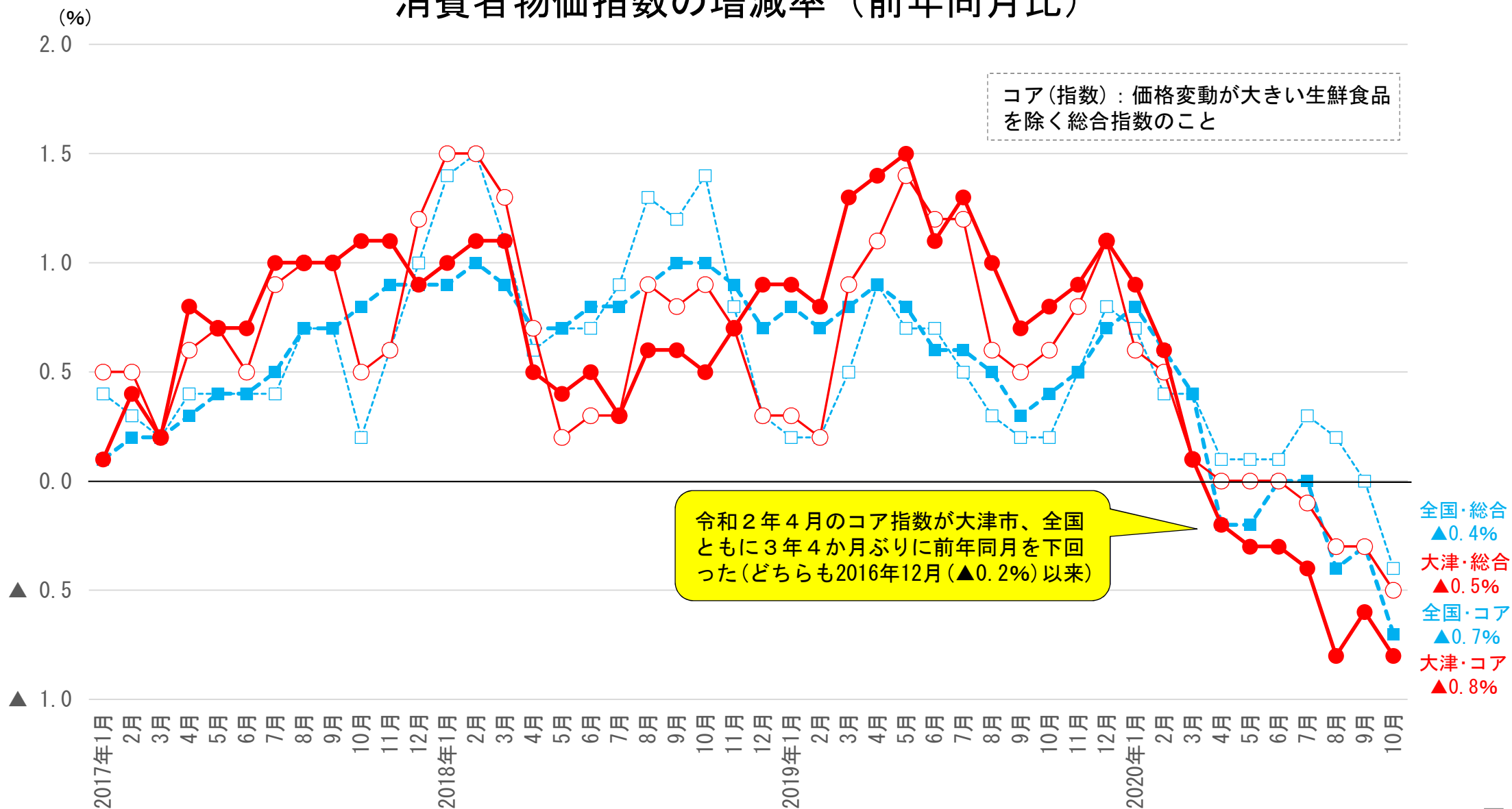
昨年10月は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減で販売額が落ち込んだため、前年同月比が滋賀県、全国ともにプラスに転じたと思われる。その他の業態別販売額等も、滋賀県、全国ともにコンビニを除いて前年同月を上回った。

その他の業態別販売額等(滋賀県、全店ベース) (販売額等：百万円、前年同月比：%)

	コンビニ エンストア	前年同月比	家電大型 専門店	前年同月比	ドラッグ ストア	前年同月比	ホーム センター	前年同月比
2019年10月	9,831	1.6	2,520	▲ 14.1	5,911	▲ 0.2	2,827	▲ 14.4
11月	9,672	2.4	3,038	▲ 11.3	6,114	5.0	3,230	▲ 1.6
12月	10,180	▲ 0.1	4,394	▲ 14.4	6,999	4.0	3,561	▲ 7.2
2020年1月	9,185	0.5	3,540	▲ 5.7	6,271	6.5	2,745	▲ 3.7
2月	8,826	0.9	3,089	5.5	6,812	21.2	2,772	7.7
3月	9,167	▲ 6.8	3,869	▲ 4.5	6,961	10.7	3,290	10.4
4月	8,539	▲ 11.9	3,159	2.5	7,272	17.6	3,767	16.1
5月	8,806	▲ 12.0	3,758	13.0	7,178	13.8	4,309	13.5
6月	9,136	▲ 6.2	4,816	29.6	7,034	8.3	4,060	26.4
7月	9,356	▲ 9.7	4,639	15.9	7,075	8.2	3,635	10.8
8月	9,997	▲ 6.8	4,723	8.7	7,414	15.6	3,992	23.6
9月	9,502	▲ 4.1	3,651	▲ 30.0	6,536	▲ 9.4	3,449	▲ 5.9
10月	9,326	▲ 5.1	3,275	30.0	6,574	11.2	3,254	15.1

2 消費 ③消費者物価指数（時系列データ）

消費者物価指数の増減率（前年同月比）



2 消費 ③消費者物価指数

消費者物価指数（2015年＝100、前年同月比：％）

	大津市				全 国			
	総 合	前 年 同月比	生鮮食品 を除く 総 合	前 年 同月比	総 合	前 年 同月比	生鮮食品 を除く 総 合	前 年 同月比
2019年 10月	102.7	0.6	102.6	0.8	102.2	0.2	102.0	0.4
11月	102.9	0.8	102.7	0.9	102.3	0.5	102.2	0.5
12月	103.0	1.1	102.9	1.1	102.3	0.8	102.2	0.7
2020年 1月	102.7	0.6	102.6	0.9	102.2	0.7	102.0	0.8
2月	102.4	0.5	102.3	0.6	102.0	0.4	101.9	0.6
3月	102.4	0.1	102.4	0.1	101.9	0.4	101.9	0.4
4月	102.6	0.0	102.4	▲ 0.2	101.9	0.1	101.6	▲ 0.2
5月	102.7	0.0	102.4	▲ 0.3	101.8	0.1	101.6	▲ 0.2
6月	102.4	0.0	102.2	▲ 0.3	101.7	0.1	101.6	0.0
7月	102.3	▲ 0.1	102.0	▲ 0.4	101.9	0.3	101.6	0.0
8月	102.2	▲ 0.3	101.6	▲ 0.8	102.0	0.2	101.3	▲ 0.4
9月	102.2	▲ 0.3	101.5	▲ 0.6	102.0	0.0	101.3	▲ 0.3
10月	102.2	▲ 0.5	101.7	▲ 0.8	101.8	▲ 0.4	101.3	▲ 0.7

10月の大津市の「生鮮食品を除く総合(コア)指数」は101.7、前年同月比▲0.8%で7か月連続で前年同月を下回った。（「総合指数」は102.2で、前年同月比▲0.5%）

全国のコア指数は101.3、同▲0.7%で3か月連続の下落。（総合指数は101.8、同▲0.4%）

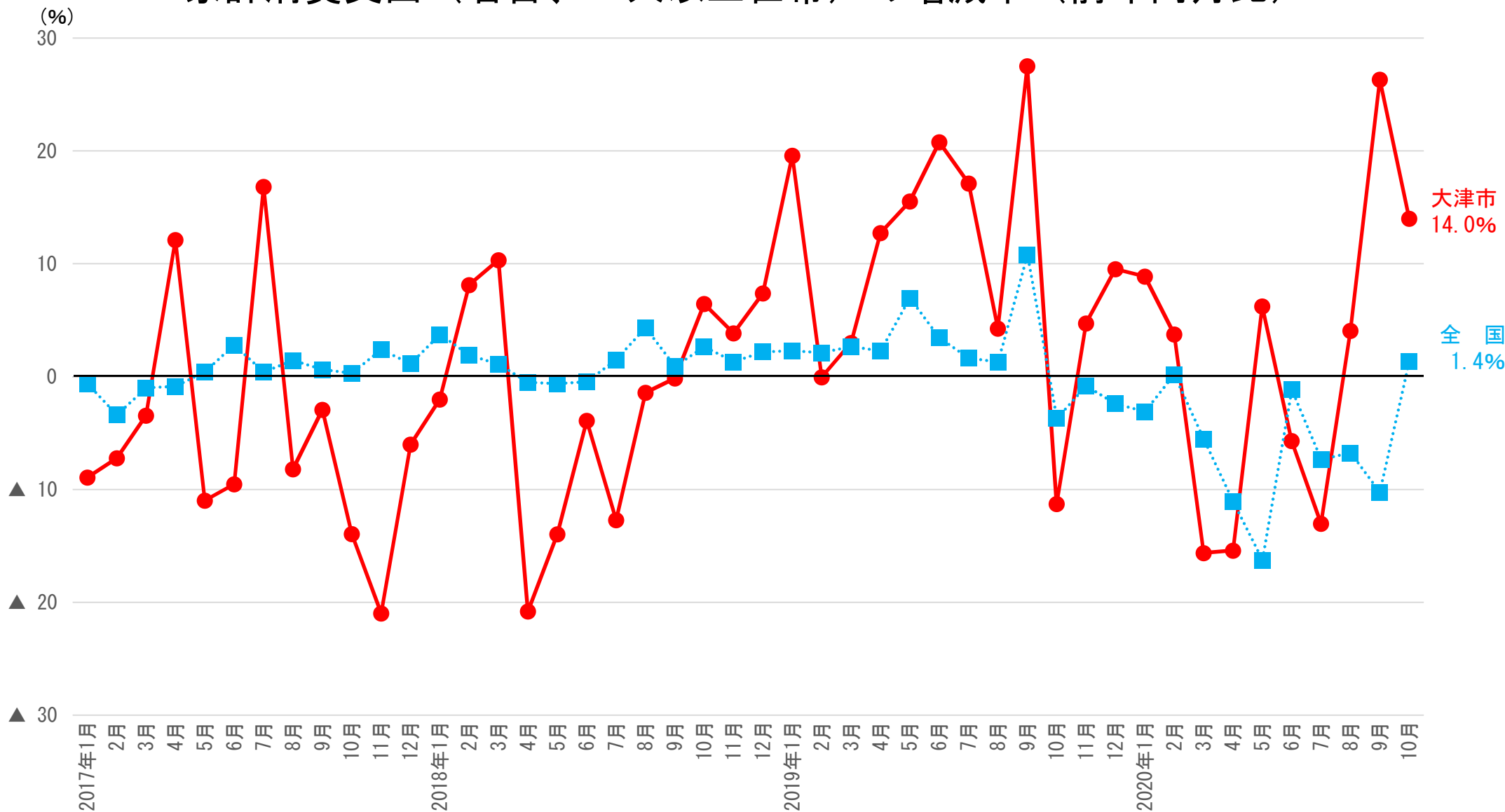
新型コロナの影響に対する政府の観光支援策「Go To トラベル事業」により割引が行われている「宿泊料」が含まれる「教養娯楽」の下落、新型コロナ感染拡大を受けたエネルギー価格の落ち込み、昨年10月の消費税増税による物価押上げの反動により、大津市、全国ともにコア指数が低下したと考えられる。

主な変動費目（2020年10月・総合指数(前年同月比)寄与度順）

	大津市	全 国
上昇	食料(+0.8%)：生鮮魚介、生鮮果物、生鮮野菜 家具・家事用品(+3.3%)：家庭用耐久財	食料(+1.1%)：生鮮果物、生鮮野菜
下落	教養娯楽(▲4.1%)：教養娯楽サービス 教育(▲3.7%)：授業料等 光熱・水道(▲1.5%)：電気代	教養娯楽(▲4.0%)：教養娯楽サービス 光熱・水道(▲2.9%)：電気代、他の光熱 交通・通信(▲0.9%)：自動車等関係費

2 消費 ④ [参考] 家計消費支出 (時系列データ)

家計消費支出 (名目、2人以上世帯) の増減率 (前年同月比)



2 消費 ④ [参考] 家計消費支出

家計消費支出（名目、2人以上世帯）

（円、前年同月比：％）

	大津市	前年同月比	全国	前年同月比
2019年10月	272,437	▲ 11.3	279,671	▲ 3.7
11月	275,201	4.7	278,765	▲ 0.8
12月	366,545	9.5	321,380	▲ 2.4
2020年1月	337,731	8.9	287,173	▲ 3.1
2月	280,675	3.8	271,735	0.2
3月	266,492	▲ 15.6	292,214	▲ 5.5
4月	272,215	▲ 15.4	267,922	▲ 11.0
5月	326,577	6.2	252,017	▲ 16.2
6月	279,116	▲ 5.7	273,699	▲ 1.1
7月	272,497	▲ 13.0	266,897	▲ 7.3
8月	287,674	4.1	276,360	▲ 6.7
9月	399,466	26.3	269,863	▲ 10.2
10月	310,587	14.0	283,508	1.4

10月の家計消費支出（名目）は、大津市は310,587円、前年同月比+14.0％で3か月連続の増加、全国は283,508円、同+1.4％で8か月ぶりの増加となった。

※家計消費支出は家計調査の結果を利用しているが、大津市の調査世帯数は85世帯（2020年10月調査）と少なく誤差が大きいため、前年や全国との比較には注意が必要

全国は昨年10月、消費税増税前の駆け込み需要が発生した翌月であったため消費が落ち込んでおり、今月はその反動の影響が出たと考えられる。（なお、大津市は「家具・家事用品」、「教育」等の消費額が前年に比べて大きく増えたため、前年同月比の伸びが全国より大きくなっている。）

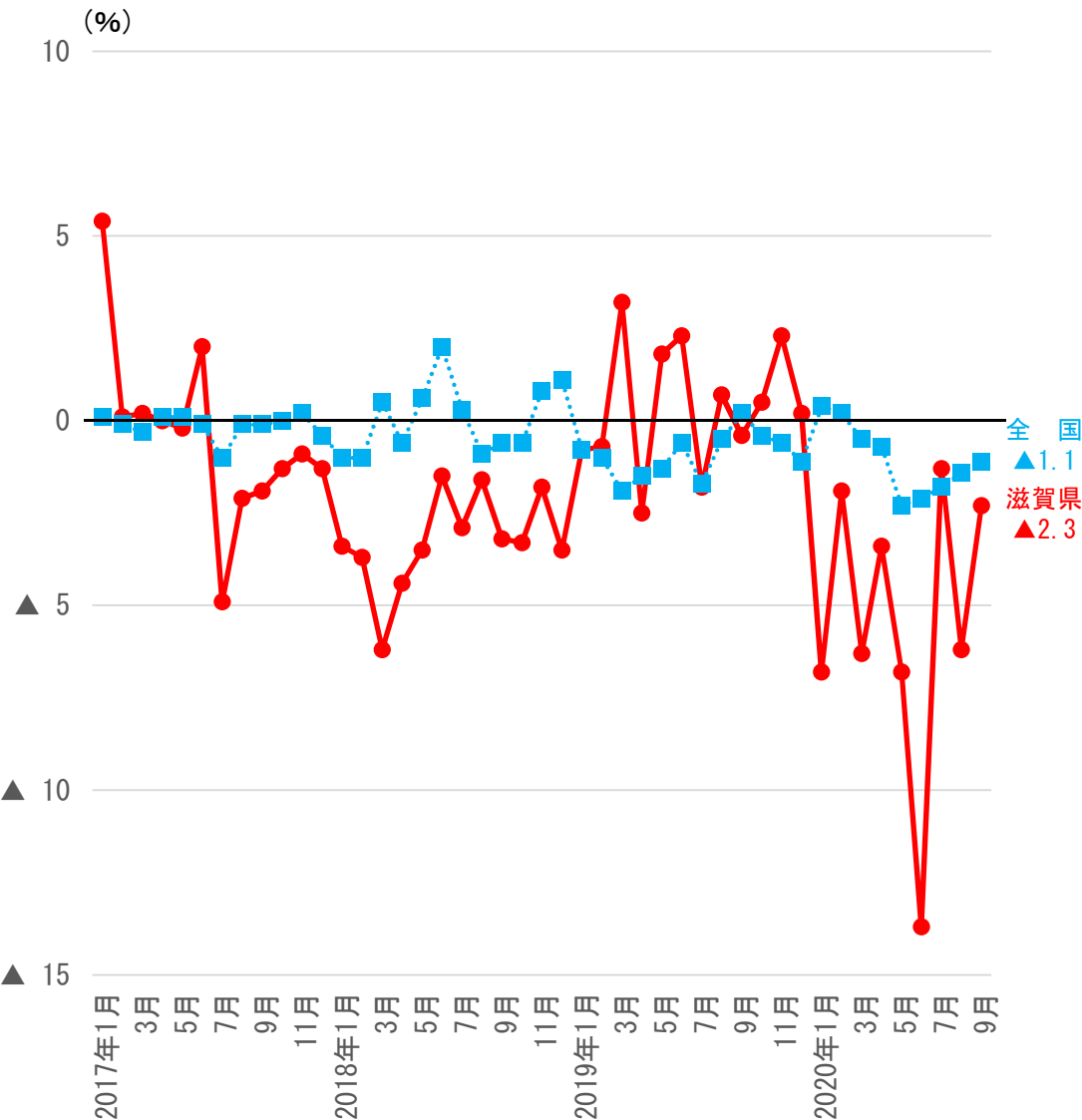
家計消費支出（名目、2人以上世帯）の10大費目（品目分類）別内訳（2020年10月）（円、前年同月比：％）

	大津市	前年同月比	全国	前年同月比	新型コロナにより消費行動に大きな影響が見られた主な品目（全国・対前年同月実質増減率）
食料	84,917	2.7	79,878	3.0	チューハイ・カクテル(+28.2)、即席麺(+11.0)、飲酒代(▲36.3)
住居	13,873	▲ 34.7	19,753	13.7	
光熱・水道	20,169	16.9	19,355	4.3	
家具・家事用品	20,842	195.4	13,413	41.0	
被服及び履物	15,896	29.1	10,609	4.4	
保健医療	12,998	37.8	15,822	15.3	保健用消耗品（マスク、ガーゼを含む。）(+106.7)
交通・通信	36,156	▲ 0.2	38,946	▲ 3.9	郵便料(+19.0)、航空運賃(▲89.8)、バス代(▲45.5)、鉄道運賃(▲37.1)、有料道路料(▲36.3)
教育	19,770	130.6	14,511	8.3	
教養娯楽	33,967	24.1	26,470	▲ 3.9	宿泊料(+31.8)、遊園地入場・乗物代(▲46.1)、映画・演劇等入場料(▲30.3)、文化施設入場料(▲28.9)、
その他の消費支出	51,998	3.5	44,752	▲ 12.8	口紅(▲37.6)、ファンデーション(▲17.3)

3 雇用 ⑤実質賃金指数・⑥所定外労働時間指数(時系列データ)

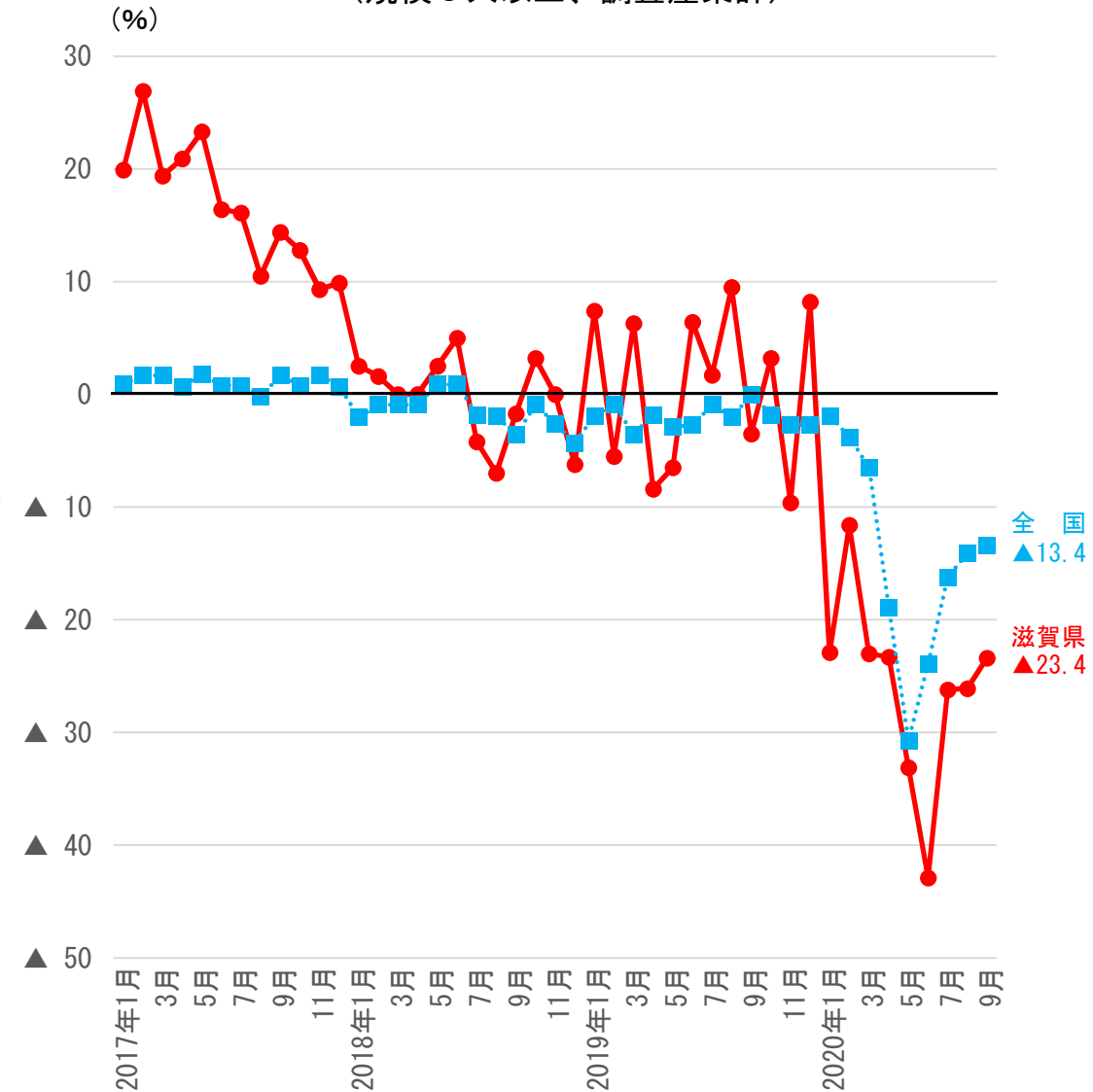
実質賃金指数の増減率(前年同月比)

(現金給与総額、規模5人以上、調査産業計)



所定外労働時間指数の増減率(前年同月比)

(規模5人以上、調査産業計)



3 雇用 ⑤実質賃金指数・⑥所定外労働時間指数

実質賃金指数(現金給与総額)および所定外労働時間指数(2015年平均=100)

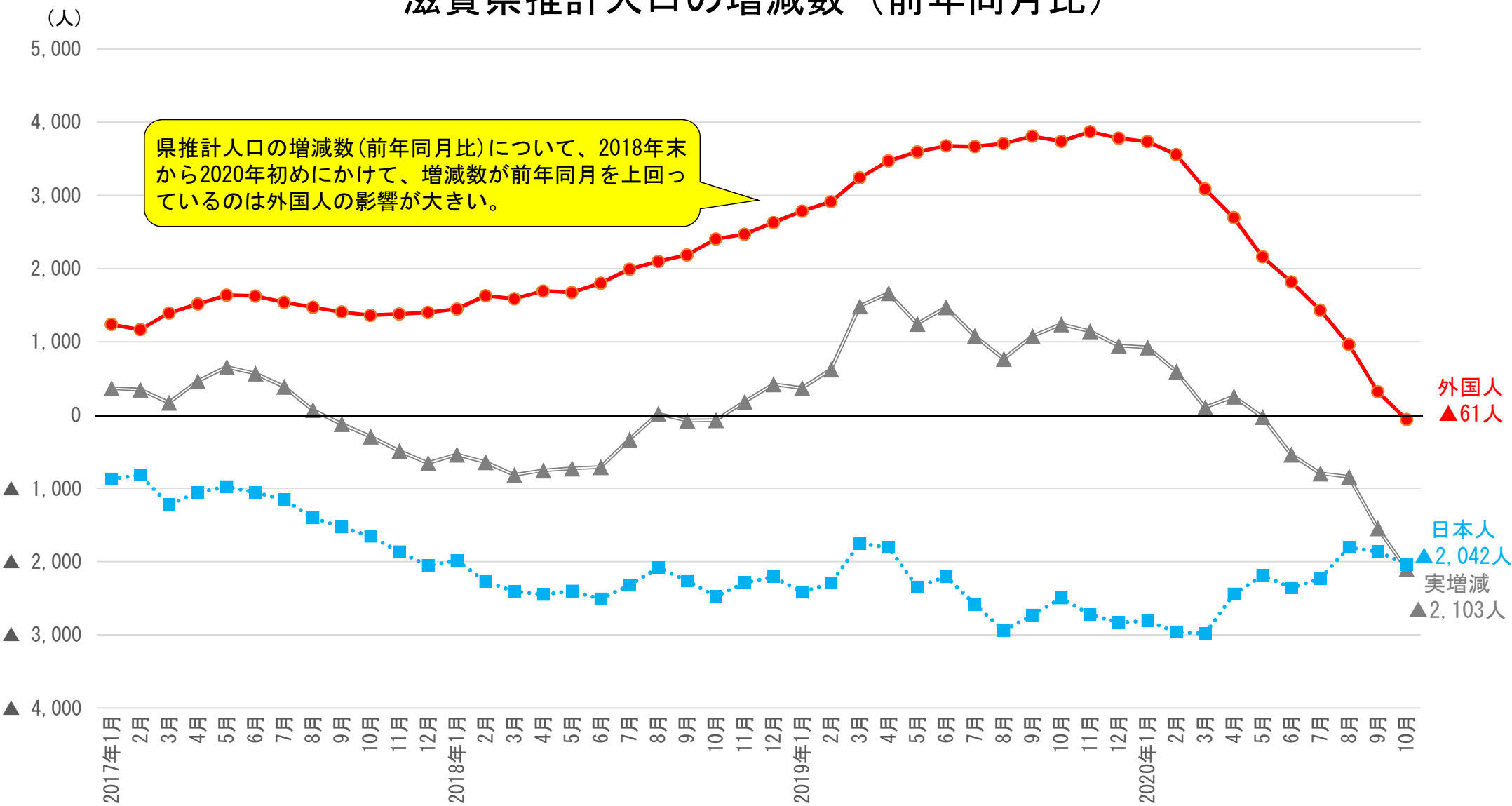
	実質賃金指数(現金給与総額)				所定外労働時間指数			
	滋賀県	前年同月比(%)	全国	前年同月比(%)	滋賀県	前年同月比(%)	全国	前年同月比(%)
2019年9月	81.2	▲0.4	84.2	0.2	104.7	▲3.5	95.5	0.0
10月	81.3	0.5	83.9	▲0.4	121.7	3.2	98.2	▲1.8
11月	84.9	2.3	88.0	▲0.6	107.5	▲9.6	98.2	▲2.7
12月	174.7	0.2	174.1	▲1.1	123.6	8.2	96.4	▲2.7
2020年1月	81.8	▲6.8	84.9	0.4	95.3	▲22.9	90.9	▲1.9
2月	79.3	▲1.9	82.5	0.2	100.9	▲11.6	93.6	▲3.8
3月	80.9	▲6.3	87.1	▲0.5	98.1	▲23.0	92.7	▲6.5
4月	80.1	▲3.4	85.1	▲0.7	86.8	▲23.3	81.8	▲18.9
5月	77.8	▲6.8	83.3	▲2.3	72.6	▲33.1	65.5	▲30.7
6月	125.6	▲13.7	137.3	▲2.1	71.7	▲42.9	72.7	▲23.9
7月	110.4	▲1.3	114.3	▲1.8	82.1	▲26.2	80.0	▲16.2
8月	80.6	▲6.2	84.5	▲1.4	80.2	▲26.1	77.3	▲14.1
9月	79.3	▲2.3	83.3	▲1.1	80.2	▲23.4	82.7	▲13.4

9月の滋賀県の実質賃金指数(現金給与総額)は79.3、前年同月比▲2.3%、所定外労働時間指数は80.2、同▲23.4%で、いずれも9か月連続で前年同月を下回った。(全国の実質賃金指数(同)は83.3、同▲1.1%で7か月連続減、所定外労働時間指数は82.7、同▲13.4%で12か月連続減)

新型コロナウイルス感染の影響による経済活動の低迷等で、所定外労働時間の減少が続いており、それに伴い実質賃金指数も前年割れが続いているが、マイナス幅は縮小傾向が見られる。

4 その他 ⑦推計人口（時系列データ）

滋賀県推計人口の増減数（前年同月比）



4 その他 ⑦推計人口

滋賀県推計人口および前年同月比（人）

	総人口	うち外国人	前年同月比	うち日本人	うち外国人
2019年11月	1,414,349	28,512	1,240	▲ 2,498	3,738
12月	1,414,377	28,860	1,144	▲ 2,725	3,869
2020年1月	1,414,105	28,909	950	▲ 2,832	3,782
2月	1,413,800	29,118	925	▲ 2,809	3,734
3月	1,413,292	29,256	595	▲ 2,962	3,557
4月	1,411,603	29,335	105	▲ 2,983	3,088
5月	1,413,774	29,387	251	▲ 2,443	2,694
6月	1,413,579	29,262	▲ 27	▲ 2,188	2,161
7月	1,412,846	29,115	▲ 539	▲ 2,358	1,819
8月	1,412,684	28,975	▲ 797	▲ 2,230	1,433
9月	1,412,732	28,790	▲ 843	▲ 1,806	963
10月	1,412,415	28,596	▲ 1,544	▲ 1,863	319
11月	1,412,246	28,451	▲ 2,103	▲ 2,042	▲ 61

11月1日現在の滋賀県の推計人口は141万2,246人（うち外国人 28,451人）、前年同月比▲2,103人（うち日本人▲2,042人、うち外国人▲61人）で6か月連続で前年同月を下回った。

外国人人口は2020年3月以降、新型コロナの感染拡大に伴う外国人の入国制限等の影響で、前年同月比の増加数が顕著に減少しており、11月は2015年6月以来、5年5か月ぶりにマイナスとなった。

（左表中の「総人口」は当該月の1日現在の値であるが、増減数は前月中の動きを表しているため、グラフでは1か月前の表記にしている。）

滋賀県の外国人の転入・転出数（実数）

